

令和5年度 市政運営会議 議事概要

日時	令和5年10月4日（水）9:30～9:45
議題	令和6年度に向けた市政取組方針について
出席者	高島市長、光山副市長、中村副市長、荒瀬副市長、 総務企画局長、総務企画局行政部長、総務企画局企画調整部長、 総務企画局人事部長、財政局長、財政局財政部長
決定事項	○令和6年度に向けた市政取組方針について、別紙のとおりとする。
議事要旨	<p>【荒瀬副市長】</p> <ul style="list-style-type: none">・新興感染症であった新型コロナウイルス感染症パンデミックを教訓に、平時から感染症に強いまちづくりにしっかりと取り組むとともに、子どもたちが夢を持って成長できるよう、そして高齢者や障がい者が自分らしく暮らせるよう、福岡100を強力に推進し、「生活の質の向上」にしっかりと努めていただきたい。 <p>【中村副市長】</p> <ul style="list-style-type: none">・DXの推進やテクノロジーの活用などにより、ぬくもりのある持続可能なまちづくりを進めるとともに、DX人材の確保・育成にしっかりと取り組んでいただきたい。・また、高質な観光・MICEの振興やスタートアップへの支援、都心部機能の強化などにより、さらなる「都市の成長」を促す取組みを着実に進めていただきたい。 <p>【光山副市長】</p> <ul style="list-style-type: none">・市民ニーズや価値観の多様化、社会経済情勢など、様々な変化に適切に対応できるよう、予算編成・組織編成を行う必要がある。・また、それぞれの施策・事業を本来の目的に照らし、しっかりと選択と集中を図りながら、将来にわたり持続可能な市政運営に取り組んでいただきたい。

【高島市長】

- 令和6年度は、新しいマスタープランを作る大事な年になる。福岡市では「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」をめざしてまちづくりを進めてきたが、これは今、世界的な動きとなっている Well-being などの考え方と同じ方向性であり、この基本的な方向性をしっかり引き継ぎつつ、新たな視点や価値観などをアップデートし、素晴らしいプランを作っていくことが大事である。
- 時代が大きく変わっていく中で、職員一人ひとりが、固定観念に捉われない柔軟な発想と長期的な視点を持って、10年先、20年先を見据えたまちづくりに取り組んでほしい。